

は じ め に

かながわ環境白書は、神奈川県における環境の現状と保全のための施策について広く県民に周知し、環境問題に対する認識と理解を深めていただくため、毎年、環境基本条例に基づき発行しており、この白書では、令和元年度における県の取組及び今後の取組の方向性について記載しています。

最近の環境を取りまく状況を概観すると、世界各地で地球温暖化などの気候変動を一因とした熱波、大雨・洪水などが発生しており、本県においても令和元年の台風第15号及び第19号により甚大な被害が生じました。このような状況を踏まえ、県は、国に先駆け、令和元年11月に「2050年脱炭素社会の実現」を表明し、2050年の二酸化炭素排出実質ゼロの達成に向けて、再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギー対策の推進などの取組を進めています。

また、深刻化する海洋汚染、特にプラスチックごみによる汚染が、世界規模の問題となっています。このため、県では「かながわプラごみゼロ宣言アクションプログラム」を策定し、プラごみゼロに向けた取組を進めています。

なお、これら「「2050年脱炭素社会の実現」に向けた取組」や「かながわプラごみゼロ宣言アクションプログラム」のほか「GPSを使ったモニタリング調査によるニホンザルの総合的管理の実現」、「森林環境譲与税の概要と県の取組」について特集記事を設け解説しています（14～24ページ）。

将来にわたって良好な環境を保全し、次の世代に引き継いでいくことは、私たちの重要な責務です。この白書が、多くの皆様の環境問題に関する理解を深めるとともに、環境の保全・創造活動に取り組まれる際の一助となれば幸いです。